

実施設計～電気設備の具体的位置を検討～

新庁舎本体の実実施設計に関し、平面図上で決定した機器(システム等)の配置箇所をもとに、コンセント等の各電気設備の設置箇所について、設計事業者の協力のもと、庁内検討を行いました。

検討結果は、受変電設備図など、電気設備関係の詳細図面に反映され、建物建設時の配管や配線工事に利用されます。また、各課で管理している各種システム(住基、防災、施設管理等)の設置に際しても、基礎資料として利用します。

建築実施設計については、今後も引き続き細部の検討を行っていきます。

分野	系統	具体例
電気設備	L A N	メール、住基、戸籍、防災(無線、震度計)、公衆用
	電話	一般電話、F A X、公衆電話、衛星電話
	電気	通常時電気、非常時電気(発電機、太陽光発電)
	放送	構内・非常放送、U H F受信
	防災・警備	庁舎警備、入退館、火災報知器
	呼出・マイク	会議室・議会マイク、非常呼出ベル、在室表示

新庁舎コラム 新庁舎の6つの理念③

「理念2/町民すべてに優しく気軽に訪れやすい庁舎」：②ユニバーサルデザイン

～基本計画・基本設計の6つの理念に沿って、新庁舎建築設計の詳細をご紹介します～

新庁舎は、年齢や性別、障がいの有無等を問わず、すべての人にとって利用しやすい「ユニバーサルデザイン」の理念に沿い、町民すべてに優しい庁舎を目指します。

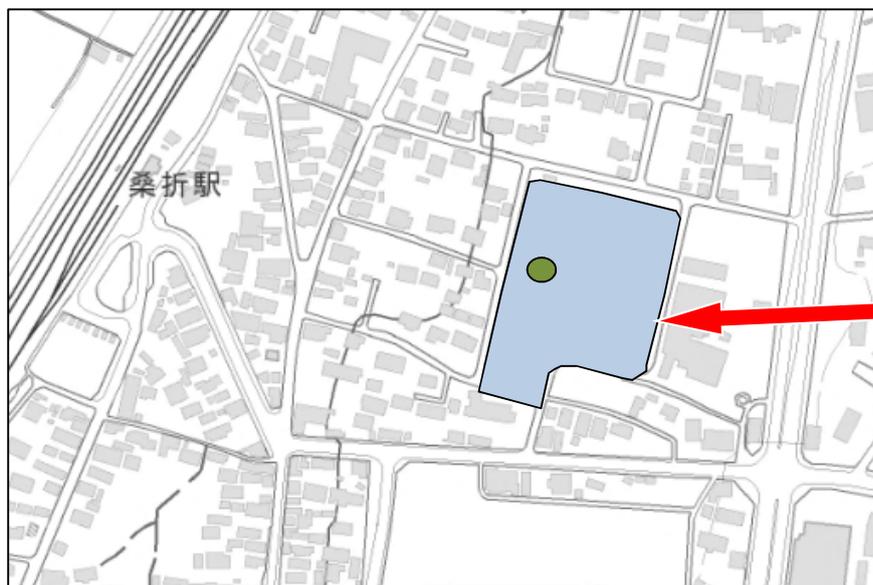
1	通路	一般の歩行者や車椅子の方の他、台車等がすれ違いやすいよう、広めの幅とする他、なるべく段差のない構造とする
2	出入口	特に来訪者の多い1階相談室等の出入口は、高齢の方や車いすの方も利用しやすいよう、なるべくドアではなく引き戸とする
3	階段	一段一段の段差が低い緩やかな階段とする他、2段手すりを設置する
4	エレベーター	車椅子がエレベーター内で方向転換できるサイズとし、救急時にストレッチャー等も利用できる構造とする
5	一般トイレ	手すりを設置する他、子どもも使いやすい便器を設置する
6	多機能トイレ	おむつ替え用ベットやオストメイト(人工肛門)用流し等を設置し、障がいのある方や子供連れの方、高齢の方などが利用しやすくする
7	ローカウンター	低めのカウンターを主体にすることで、座って楽に手続き等ができ、車いすの方も利用しやすくする
8	授乳室	流しや給湯、ソファ等を準備し、安心して授乳できるようにする
9	キッズスペース	クッションや絵本等を準備し、相談時や待ち時間に利用可能にする
10	おもいやり駐車場	車椅子の方や妊婦の方等が利用しやすく、庁舎に近く広めの区画とする

お知らせとお願い：新庁舎建設地の地中熱利用調査を実施中

旧醸芳中学校跡地（新庁舎建設地）で、下記の通り地中熱利用可能性基礎調査を実施しています。期間中は業者の出入り、作業現場から発生する音(機械ボーリング等)など、ご迷惑をお掛けしておりますが、引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

記

1. 委託箇所 桑折町大字谷地字道下地内（下図参照）
2. 作業期間 平成30年9月20日～11月10日(日曜・祝日を除く)(予定)
3. 作業時間 午前8時～午後5時（機器設置、掘削作業等）
(大きな音が出る作業は、午前8時30分以降に実施します。)
4. 委託業者 株式会社三本杉ジオテック
福島市南矢野目字徳元田北4（電話553-6138）
5. 担当課 総務課新庁舎整備室 新庁舎整備係



©国土地理院 電子国土 Web

※本調査は、9月5日に関係町内会に回覧・全戸配布した調査と同じものです。

新庁舎コラム「地中熱利用調査」

現在実施している地中熱利用調査は、地中熱の利用にあたって重要な、地下の温度状況等を調べるための調査で、地中熱工事の前提として、環境省の間接補助金を受けて実施する調査です。

中心となる調査内容は、「熱応答試験(サーマルレスポンステスト・TRT)」です。

「TRT」では、地下約100mまで掘削した穴に、直径約3cmの熱を通しやすい柔らかい管を埋設します。管の内側に水を循環させ、地中でどの程度冷やされるか(温められるか)を確認します。

地下の温度は、深さ10m以深では年間を通じて一定しているとされています。地下水等による冷却(加温)効果も含めて、該当する用地が、どの程度地中熱利用に適しているかを確認します。



試験坑の掘削



埋設用の管